

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事件事例
2. 体験した事例の名称	救助資器材の取扱い訓練中、左足背部を負傷した。
3. 体験した事例の中心的要素	各資器材の説明を受けた後、個々で反復訓練をしており、油圧ジャッキ本体を立てた状態で操作していた際にシリンダ-を納め、そばにあった別の器材を取ろうとしたが手が届かず、支えていた手を離して取ろうとしたところ、不安定となった本体が倒れ左背部を負傷した。
4. 体験した事例の原因・理由	「倒れないだろう」という憶測が不安全行動につながったものと思います。本体を寝かせてから行動すれば事故は起きなかったと思います。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 18年 2月 26日 午後 3時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋内：消防車両の車庫内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：重量物が倒れた
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助（通常時の訓練）、]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：新資器材の取扱い訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[43]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	救助資器材の取扱い訓練を開始した	新規整備器具
経過2	A	ラムシリンダ本体を立位で伸縮していた	大型油圧ジャッキ
経過3	A	シリンダを納め、別の器具を取ろうとした	側にあった
経過4	A	手が届かず、本体を支えていた手を離した	
経過5	A	不安定となった本体が倒れ受傷した	左足は背部（足の甲）
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

後方からの監視の目が行き届いていなかった。その他：ちょっとした不注意・安全管理の自己管理不足

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

事故事例を全署所に通知した。ちょっとした不注意が身体を傷つけること及び安全管理は自己管理が基本であることを周知徹底した。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

指揮監督的立場にある職員は、常に隊員の行動について、安全確保に努めなければならないことを更に自覚し、所属職員の事故防止の徹底を図った。